



連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川 1-5 (ことがゆ康弘事務所) ホームページは [ことがゆ](http://www.kogayasu.net) 検索
 TEL/FAX: 045-366-9381 メール: info@kogayasu.net <http://www.kogayasu.net>

旭区誕生50周年間近の今、考えてみよう! 「旭区」のこと。

私たちの住むここ旭区は、来年、区政50周年を迎えます。これからもずっと安心して住める街を目指して「旭区のこと」を一緒に考えましょう!

高齢化が急激に進んでいます

| 年 | 高齢化率 (%) | 要介護・要支援認定者数 (人) |
|-----|----------|-----------------|
| H17 | 19.3 | 6993 |
| H21 | 22.9 | 8345 |
| H25 | 25.7 | 10545 |
| H29 | 28.6 | 12619 |

旭区は横浜 18 区の中でも高齢化率が高く(2位)、年々上昇しています。併せて、介護を必要とする高齢者の数も増加しており、老人ホームや病院などの福祉・保健施策の充実が求められています。

交通利便性の向上が課題です

旭区は昭和40年代の急速な宅地開発により人口が激増しました。しかし交通網は十分に整備されず、現在でも道幅が狭い、駅まで遠い、慢性的に渋滞するなど大きな課題を抱えています。都市計画道路・幹線道路の計画的な整備や狭あい道路の拡幅等により交通利便性の向上が必要です。

| 整備すべき狭あい道路の距離 | 18区中ワースト1位 |
|---------------------------|------------|
| 自宅から最寄駅まで15分以内で行ける地域の人口割合 | 18区中ワースト1位 |
| 都市計画道路の整備率 | 18区中ワースト2位 |

子どもの数が減少しています

| 年 | 出生率 | 児童・生徒数 |
|-----|-----|--------|
| H22 | 7.7 | 19027 |
| H24 | 7.5 | 18890 |
| H26 | 6.9 | 18335 |
| H28 | 6.5 | 18218 |

出生率、児童・生徒数ともに減少し、少子化が進んでいます。その結果、学校数やクラス数の減少、子どもに関する需要の低下が懸念されます。一方で、働く女性が増え、保育ニーズは増加しています。質の高い保育・教育の確保が必要です。(出生率は人口千人当たりの出生数)

地域産業の活性化が必要です

| 年 | 小売業商店数 | 卸売業商店数 |
|-----|--------|--------|
| H14 | 1297 | 239 |
| H16 | 1211 | 232 |
| H19 | 1036 | 185 |
| H26 | 704 | 159 |

旭区内の商店数は年々減少しています。また、工業従事者や事業所の数も減少傾向にあります。街に魅力がなくなると人口の流失を招き更に活力が低下します。鉄道の整備や駅周辺の再開発で「行きたい街」「住みたい街」への転換が必要です。

他にもある旭区の特徴は…?

旭区は土地面積に占める宅地の割合が低く(18区中16位)緑被率(300㎡以上のまとまりのある緑の割合)も高いことから、自然が多く残された緑豊かな街です。この環境を保護するためにも緑地の保全や公園整備などが望まれています。また、自治会・町内会への加入率が高く、地域の行事も盛んに行われています。こうした地域の力を引き出し、防災・防犯活動の推進に活かしていくことが望まれています。

平成26年度に行われた区民意識調査では、旭区に住み続けたいという定住意向が8割を超える高い数値となっており、上に挙げたような旭区の課題に対して適切に対処することで『「安心」「健やか」「ふるさと」旭』の実現を目指していく必要があります。

ことがゆ康弘はこれからも様々な議員活動を通じて、こうした課題に取り組んでいきます。

(統計資料は「データでみるあさひ 2018」他より抜粋)

旭区誕生50周年記念事業について キャッチフレーズ サンサンとあさひ輝く 明るい未来

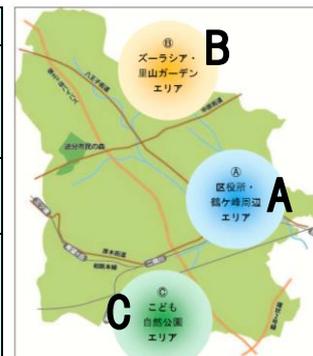
昭和44年(1969年)に保土ヶ谷区が分区して誕生した旭区は、平成31年10月1日に、誕生50周年を迎えます。これまで、多くの区民が緑と河川に囲まれた生物多様性豊かな自然環境のなかで、ふるさと旭の魅力を育んできました。そして今、旭区は大きな転換点を迎えています。相鉄線の都心直通化(開業予定: JR直通線 H31 年度下期、東急直通線 H34 年度下期)、鶴ヶ峰駅付近(西谷駅～二俣川駅間)の連続立体交差化、二俣川駅・鶴ヶ峰駅における再開発の動きなど、未来の旭区に向けたまちづくりが進んでいます。一方で、人口減少と急激な少子高齢化が進み、様々な課題も顕在化しています。このふるさと旭を、次代にどのように引き継いでいくのか、区政50周年を考える契機にしていくことが大切です。



(旭区誕生50周年記念事業実行委員会資料より)

来年度にはそれぞれのエリアで各種イベントも開催されます。ぜひ多くの区民に参加いただき、次の50年に向けて旭区の新しい魅力づくりを共に行っていきたいと思えます。

| エリア | イベント(現時点の予定: 実行委員会資料より) |
|-----|--|
| A | ・記念式典(平成31年10月19日) ・旭ふれあい区民まつり(平成31年10月20日予定) ・あさひ子育て・保育ひろば(平成31年10月下旬) |
| B | ・家族で行くズーラシア探検ツアー ・ズーラシア駅伝(平成32年1月25日予定) |
| C | ・横浜旭ジャズまつり(平成31年7月下旬) ・ヨコハマネイチャーウィーク(平成31年5月中旬～下旬) ・相鉄ロックオンミュージック(平成31年10月中旬～下旬) |



万が1がんになったらどうしよう・・・ いえ、2分の1です！

平成28年、横浜市民で亡くなった方のうち約3割は“がん”で亡くなっています。がんは早期に発見できれば治る確率の高い病気。無症状のうちにがんを見つけれられるのは検診だけです。がんは他人事ではありません。今や2人に1人ががんになる時代です。今日と変わらない明日を過ごすために、いつかではなく、“今！”がん検診を受け、早期発見、早期治療に結びつけましょう。

＜横浜市がん検診の内容＞

| 検診種類 | 受診回数 | 対象者 | 費用 |
|------------------|------------------------------|---------------|-------------------------------------|
| 胃がん (エックス線)※1 | 年度に1回(※3) | 40歳以上 (男女) | 3,140円 |
| 胃がん (内視鏡)※1※2 | 2年度に1回 (前年度に受診していない方)(※3) | 50歳以上 (男女) | |
| 肺がん | 年度に1回(※3) | 40歳以上 (男女) | 680円 |
| 大腸がん | | | 600円 |
| 子宮がん | 2年度に1回 (前年度に受診していない方)(※3) | 20歳以上 (女性) | 頸部のみ 1,360円 頸部+体部 2,620円 (※4) |
| 乳がん | | 40歳以上 (女性) | 1,370円 (視触診690円、マンモグラフィ680円) |
| 前立腺がん (PSA検査) | 年度に1回(※3) | 50歳以上 (男性) | 1,000円 |

横浜市の検診・検査の申し込み方法

- ①受けたい検診・検査にあわせて、受信する医療機関を選びます。
- ②選んだ医療機関に直接電話で申し込みます。
- ③実施医療機関については専用ダイヤル(664-2606)にお問い合わせ下さい。
- ④条件によって無料で受診できる場合があります。(問い合わせ: 旭区福祉保健センター Tel 954-6146)

※1 胃がん検診について、胃部エックス線検査と胃部内視鏡検査の両方を同一年度に受診することは出来ません。
 ※2 内視鏡による胃がん検診の途中で、確定診断のための病理検査を目的に、粘片採取する生検を行う場合があります。この生検は保険診療扱いになりますので、追加で費用が発生します。受診の際は必ず保険証等をお持ちください。
 ※3 年度とは4月1日～翌年3月31日までのことです。
 ※4 子宮がん検診のうち体部検査は、医師が必要と判断した方が対象です。



横浜市議員 (旭区選出)
かがゆ康弘 プロフィール
やすひろ

昭和42年鶴見区生まれ。早稲田大学大学院卒業後13年間の民間企業勤務を経て、横浜市議員に。2006年初当選(現在4期目)
【2018年度】
常任委員会: こども青少年・教育委員会 (副委員長)
特別委員会: 健康づくり・スポーツ推進市会運営委員会 (理事)

連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川1-5 (事務所)
TEL/FAX: 045-366-9381
メール: info@kogayu.net
http://www.kogayu.net

小さなことでも気軽に
ご相談下さい!
“地域の声”が活動の源です!



facebook FACE BOOKのウェブから「かがゆ康弘」で検索

かがゆ 🔍 検索